

### 3. 参加のきっかけ (複数回答あり)

1位	体験したいメニューがあった	26人
2位	農業を勉強したかった	14人
3位	ボランティアをしてみたかった	11人
3位	勝山に魅力を感じて	11人
その他回答	田舎暮らしに興味があった(都会にない体験を求めて)	
	地域の人たちとの交流がしたい	
	学校の紹介	
	参加・滞在費が安かったから	
	農山漁村地域の現状を知りたかった	



おっかなびっくりの田植え (平泉寺町小矢谷)



ジャージー牛の説明を受ける参加者 (ラブリー牧場)

### 4. 体験したメニューは

1位	ジャージー牛のお世話	61人
2位	古民家修復・耕作放棄地再生	41人
3位	農家のお仕事 「稲・ネギ・大豆・麦・にんにく・そば」	20人
4位	公園管理 (長尾山整備)	14人
その他プログラム	ミチノクフクジュソウの保全	
	雪かき	
	メロン・ミディトマトの世話	
	里芋の収穫	

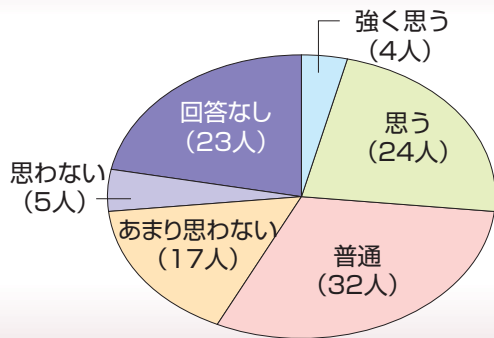


恐竜の森公園の草刈り



ミディトマトのお世話 (村岡町寺尾)

### 5. 農山村への定住について



農山村に定住したいと考えている人が、全体の27% (28人) もいました。



ネギの収穫 (若猪野)

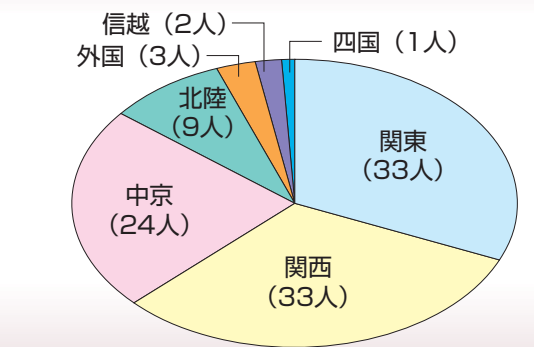
### 6. 勝山市の印象について

• 将来的に移住したい	5人
• 期間限定あるいは季節限定なら住んでみたい	21人
• 移住したいとは思わないが、何度でも来てみたい	26人
• 移住したくない	3人
その他の意見	
• 人があたたかい	
• 街並みの雰囲気がよい	
• 景色が美しい	
• 恐竜のことが知った	
• 食べ物おいしい	

# 田舎で暮らす?!

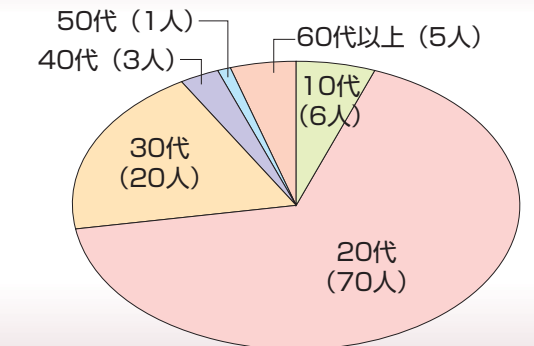
勝山市では田舎暮らしに興味のあるかたを対象とした、さまざまな体験メニューを提供しています。参加されたかたは、昨年7月から延べ100人を超え、うち105人からアンケートの回答をいただきました。参加者アンケートの結果からは、幅広い年齢層から参加があり、大都市圏からの参加が多いこと。また田舎への定住を考えているかたが多いことが分かります。また、市では9月22・23日に東京で開催された「第5回ふるさと帰郷フェア2009」に参加し、定住相談コーナーで当市の魅力をアピールしました。これからも多くのかたに来てもらい、参加した皆さんに勝山を全国にPRしていただきたいと思います。

### 1. 参加者の住所 (地域別参加人数)



関東・関西・中京方面の大都市圏からの参加が多い。

### 2. 参加者の年齢 (年齢別参加人数)



大学生が多いため10・20代の参加が一番多い。60代以上の参加者もいる。

### 受入れ先のかたに伺いました

・ジャージー牛のお世話

松本忠司さん (54 || 平泉寺町 小矢谷 ||)

「数日間の体験では、農業の本質まではなかなか伝わらないかもしれませんが、それでもこの体験を通して、農業や酪農に興味を持ってもらい、将来的に農業に携わってもらえればうれしいです。」

・古民家修復、耕作放棄地再生

國吉一實さん (40 || 長山町2 || 小原ECCOプロジェクト代表)

「民間と行政と農業の「コラボレーション」として成功している例だと思います。古民家修復などは形が残るため、第2の故郷としてまた帰ってくるきっかけになればいいですね。また、今後は年に数回定期的に同じ農業に携わるようなプログラムも必要ではないでしょうか。将来的に農業学校のような形になっていくのが理想だと思います。」

### アンケートデータの提供元

◆ 農林政策課

平成20年7月~21年9月

延べ回答者105人

◆ 農業体験のお問い合わせ

農林政策課 ( ☎ 88-8106 )